

進路だより

2017年4月10日

松阪市立鎌田中学校3学年

意識することで情報は入ってくる

進路希望調査を先日配布しました。すでに提出した人もいでしょう。逆に、どう書こうか悩んでいる人もいます。進路決定をしていくためには、まず「情報」が必要です。

「知っていること」と「知らないこと」では、頭に入ってくる情報の量が違うともいわれます。好きなアーティストの曲が流れるとすぐに気づいたり、お腹が空いていると、飲食店の看板がやたらと目についたりすることはありますか。知っていること（もの）や意識していることに関する情報は、自然と頭に入ってきてやすいのです。

つまり、学校の名前や学科を知っていれば、その学校に関する情報は、頭に入りやすくなります。その学校のことがわかれば、次は、同じ学科の他の学校の情報が気になります。そうすることで、情報が増え、よりよい進路選択ができるはずです。

まだ情報が少なく、今回の進路希望調査に迷っている人に、一つアドバイスがあります。どんな方法でもよいので、「仮の第一希望」をまず決めてください。すると、その「仮の第一希望」を意識するはずで、そうすることで、自分に必要な情報が、自然と入ってくるかもしれません。

県立高等学校の情報は、三重県教育委員会のホームページ「三重の教育」で見ることができます。また各私立高等学校については、それぞれの学校のホームページがあります。インターネットを利用する場合は、進路選択の参考にしてください。また、中学校でも、必要な情報があれば、できるだけ対応しますので担任の先生、または進路担当まで相談してください。

〇実力テストについて

今年、定期テスト（中間、期末、学年末）以外に、実力テストを7回実施する予定です。1年生、2年生でも経験していると思いますが、3年生では特に重要になってきます。進路選択をしていくときに、それぞれの興味、関心や目標は当然ですが、学校の評定（成績）とともに、実力テストの結果を参考に、進路指導を進めていきます。準備をせずに実力テストを受けてしまうことによって、その時点での適切なアドバイスができなくなる可能性もあります。1年間を通してテストはありますので、日々、勉強する体力と習慣をつけていきましょう。また、次の二つのポイントも覚えておいてほしいと思います。

1. 実力テストの問題は必ず保管。全ての実力テストの問題が理解できれば、力は大きく伸びる。
2. 実力テストは、「実力をつける」テストです。高校入試にむけて力をつけるためには、正解した問題よりも、間違ってしまった問題、わからなかった問題にこそ価値があります。復習を必ずしましょう。